

—ふるさと情報—

東京美唄会

(第2号)

◎ 次期総会明年2月27日(木)開催決定

去る9月18日正午より、ホテルニュー神田に役員など15人が参集、東京美唄会の役員会を開催しました。

柏原副会長のあいさつに次いで設立総会の決算の報告、今後の事業計画や予算さらに次期総会の開催日程などを協議しました。

主な内容は次のとおりです。

○ 年間事業計画

- ・ふるさと通信(会報発行)
- ・総会の開催
- ・地場商品のあっせん、催し物案内
- ・会員加入促進

○ 次期総会開催日程

- ・明年2月27日(木) 午後6時より

この日程は、1周年を記念し、設立総会と同じ日を選びました。

なお会場は適当なホテルを選定することとし、目下物色中です。決まり次第後日お知らせします。

○ 事務局長の交替

- ・幹事で事務局長として本会設立に尽力された三浦武美氏(朝日生命保険勤務)から札幌勤務が多くなり、地元美唄にマイホームも建設中などの理由により、事務局長を辞任したい旨申出があり、その後任として同じ幹事の細畑正治氏(フジタ工業勤務)に事務局長をお願いすることで満場一致をみ、何れも会長の了承を得ました。

三浦さんのご労苦に感謝するとともに、細畑さんの活躍を期待します。

空知中核工業団地分譲中

企業誘致に関する情報等をお待ちしています。

◎ 美唄出身 安田 侃さん 個展開く

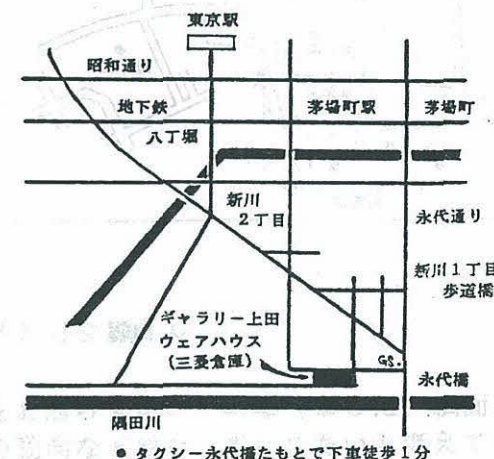
美唄出身で、昭和44年に東京芸術大学大学院を修了後イタリアで制作活動を続け、国際的に活躍している彫刻家の安田侃氏が個展を開催します。

今年で3回目を迎えたJC美唄大賞の荣誉に輝いた氏の今後の活躍と個展の成功を心からお祈りします。

会員皆様おさそい合わせのうえご来場をお待ちしています。

- ・とき 10月18日(金)～11月10日(日)
平日AM10:30～PM6:30 日曜AM11:00～PM5:00
- ・ところ ギャラリー上田 ウェアハウス
〒104 東京都中央区新川1-28-24 三菱倉庫
TEL 03-553-8791・8792

- ・入場無料
- ・会場案内図



● タクシー永代橋もとで下車徒歩1分

◎ 村上恵智子さん作陶展開く

東京美唄会員で元三井新美唄鉱業所勤務の村上恵智子さんが作陶展を開きます。

会員皆様の暖かいご支援と皆様のご来場をお待ちしています。

- ・とき 10月14日(月)～10月19日(土) 毎日 AM11:00～PM7:00
- ・ところ 永井画廊
〒104 東京都中央区銀座7-8-1 渋谷ビル6F
TEL 03-574-0266

◎ 東京美唄会員の花柳鳴介さん 地元で「美唄をどり」を開催

昭和60年7月15日付 美唄新報より

美唄出身の舞踊家、花柳鳴介さんが主催した10周年記念「美唄をどり」が七日市民会館大ホールで盛大に催された。

新発足の美唄をどり後援会（中川誠太良会長）をはじめ、市、美唄新報社など関係団体をあげた後援で3年ぶりに行われた公演には昨年秋、紫綬褒賞を受けた花柳寿南海師が特別出演で来美したほか、花柳一門から5人の師匠が賛助出演。その他、地方、鳴物、衣裳大・小道具らのスタッフを含めると総勢約70人という大所帯。

長唄「松の緑」で幕をあけた舞台では、賛助出演の一門師匠をはじめ、地元や札幌の名取りや高弟ら16人が出演。常磐津「三ッ面守」から同「釣女」「廊八景」などざつと5時間余に及ぶ古典舞踊の粋を演じ、札幌、滝川などの地方客を混じえ、会場をいつぱいに埋めた観客を楽しませた。

この間、鳴介師の二男、崇之君（小学3年）も清元「玉児」に。また特別出演の寿南海師は代表作の長唄「雨の四季」（池田弥三郎作詞）にそれぞれ出演、10周年に色どりを添えた。

一方、鳴介師も賛助出演の一門師匠らと組んで振りがおもしろい「釣女」や長唄「連獅子」に熱演、盛んな拍手を浴びたが、小都市ではめつたに見られないナマの長唄やおはやしをパツクにした華麗な歌舞伎舞踊の数々は、美唄をどりの存在を内外に高めたようで見物の市民も「これまで最高の見ごたえ」と、高く評価していた。

なお、鳴介さんは「多くは持ち出し」という自主公演にもめげず「公演成功のお礼」として、十日、市の総合体育館建設資金に百万円を寄付した。

華麗に10周年記念公演
美唄をどりさんは市に100万円寄付

◎ 役員会アラカルト

- 去る9月18日開催の役員会に柏原、都竹、岡田の三副会長に、岩城、岡本、木元、東松、能城、藤沢、細畑、三浦の各幹事、さらに有馬顧問の各氏の出席をいただきました。ご多忙のところ有難うございました。なお他に吉岡、五十嵐、谷津の事務局担当が出席しました。
- 役員会で種々有意義な意見が出されました。
 - ・ ふるさと通信より、会員を中心とした連絡情報を希望する。
 - ・ アトリエ村構想を北海道で進めているが美唄が名乗り出ていないのが残念、色々な分野で頑張ってもらいたい。
 - ・ ふるさとは良いもので或る年令にUターンし住宅でも建てたくなる。例えば住宅団地の分譲時に会員に連絡することを考えるべきではないか。
 - ・ 美唄会の会員は炭鉱等の閉山により第2の人生を求めて東京をはじめ関東周辺に移り住んだ方、青雲の志を抱いて活躍の場を求めて住んでいる方、或いは主婦やOBの方など大別して三つのグループに分けられると思う。そのことを頭においた事業を展開するよう心掛けるべきではないだろうか。
 - ・ 以上の意見を十分参考にしながら会の運営に務めて参りますのでよろしく（事務局）

◎ 事務局職員紹介

美唄市東京事務所には次の職員が勤務しており、当会の事務を担当しています。

お気軽にお立寄り下さい。

所長 吉岡 稔
次長 五十嵐 義昌

なお、企業誘致の協力をお願いしている有馬裕憲氏（東京美唄会顧問）のご好意により当会の事務をお手伝いいただいています。

・案内図



◎ 事務局よりお願い

- ・ ささやかな情報紙をお届けすることになりました。紙面を通じて会員皆様の情報交換や会員の動向など紹介していきたいと考えています。暖かいご支援とご一報をお待ちしています。
- ・ 本会の入会希望者がおりましたら電話でご一報をお願いします。「入会のしおり」を作成しましたのでお送りいたします。東京美唄会をよりどころに皆様の活躍を楽しみにしています。
- ・ まだ会費を納入されていない方は、恐れ入りますが最寄りの下記銀行「東京美唄会 吉岡 稔」口座にお振り込み下さい。
 - 富士銀行根津支店 (普) 235-973115
 - 拓殖銀行小石川支店 (普) 237-247053

連絡先 ・事務局 〒113 東京都文京区千駄木3-36-11センチリー-21
美唄市東京事務所内 ☎ (03) 824-0010
・事務局分室 〒072 北海道美唄市西3条南1丁目
美唄市経済部企業誘致対策室内 ☎ (01266) 2-3131